

Facebook

琉球朝日放送 棚原勝也さん

言葉考。

言葉を持つ政治家の
理路整然とした正論

『自ら土地を奪っておいて
県民に大変な苦しみを
今日まで与えておいて

:

:

“普天間基地が老朽化したから
世界一危険になったから
お前たちが負担しろ、

:

:

“辺野古が唯一の解決策だ
それが嫌なら代替案があるのか、

:

:

“日本の安全保障を
どう考えているのか、
という

:

:

(これは)日本の安全保障や
日米同盟を考える上で
“日本国の政治の墮落、ではないかと
申し上げている』

:

:

2015年5月、外国特派員協会。
沖縄の不条理な今が
なぜあるのか？
分かりやすい言葉で心に届く。

:

:

まず沖縄の簡単な歴史から。
約 500 年に及ぶ琉球王朝の
全盛期の時代がありました。

日本、中国、東南アジアの
貿易の中心になるんだと
やってきました。

大交易時代、ベトナムの博物館には
600 年前に琉球人が来たという
年表もありましたし、

中国では福州市に、
琉球人の墓を
今も地域の人が管理している。

北京には「琉球学館」がありまして、
琉球のエリートたちが
オブザーバーで
勉強させてもらっていた。

ペリーは 1853 年に
初めて浦賀に来航します。
ペリーはその前後、
5 回沖縄に立ち寄っています。
85 日間滞在して、
1854 年には独立国としての琉球と、
琉米修好条約を結んでいます。

その 25 年後の 1879 年、
日本国に併合されました。

私たちは琉球処分と呼んでいます。

沖縄の言葉、
ウチナーグチを禁止されました。
「一人前の日本人になりなさい」と
皇民化教育を受け、
ある意味で
日本国に尽くしてまいりました。

:

:

その先にあったのが
70 年前の沖縄の戦争です。
唯一の地上戦で
10 万人を超える人が亡くなりました。
日米軍人を合わせて、
20 万人を超える人々が
沖縄で亡くなっています。

戦前、戦中、戦後と、
ある意味で日本国に
操を尽くしてまいりました。

その結果が、
戦後すぐの
サンフランシスコ講和条約で、
日本の独立と引き換えに、
約 27 年間、米軍の施政権下に
差し出されたわけです。

:

:

米軍との過酷な自治権獲得闘争は
想像を絶するものでした。

当時は治外法権みたいなものでした。
高等弁務官というものがいて、
アメリカの民政府があって、

そのもとに

沖縄の立法院議会というものがあつた。

:

:

日本国憲法も児童福祉法の適用も
ありません。

27年間、国会議員を
出したこともありません。

:

:

沖縄はその間、
日本国民でもアメリカ国民でも
ありませんでした。

インドネシア沖で
沖縄の漁船が拿捕されたときには、
三角の琉球旗を掲げましたが、
何の役にも立ちませんでした。

ベトナム戦争には
沖縄から毎日、B-52をはじめ、
爆撃機が飛び立ちました。

その間、日本は自分の力で
平和を維持したかのごとく、
経済成長を謳歌したわけです。

:

:

今回の普天間基地のあり方ですが、
日本政府は
「普天間基地の危険性除去が原点」
とっております。

新辺野古基地が
「唯一の解決策」と言っています。
しかし沖縄から言わせると、

普天間基地の原点は
戦後、住民が
収容所に入れられているときに、
米軍に
強制抛出させられてできています。
何も貸したわけではないんです。

沖縄は今日まで
自ら基地を提供したことは
一度もございません。

:

:

普天間もそれ以外の飛行場も基地も、
戦後、沖縄県民が
収容所に入れられているときに
取られたか、

住民が住んでいるときは
ブルドーザーと銃剣でどかして、
家も壊して、
今の基地はすべてできている。

:

:

だから、
自ら土地を奪っておいて、
県民に大変な苦しみを
今日まで与えておいて、

「普天間基地が老朽化したから、
世界一危険になったから、
お前たちが負担しろ。」

辺野古が唯一の解決策だ。
それが嫌なら代替案があるのか。
日本の安全保障をどう考えているのか。
沖縄県のことを考えているのか」

という話がされている。

:

私は、日本の安全保障や
日米同盟を考える上で、
『日本国の政治の墮落』ではないかと
申し上げている。

:

:

新辺野古基地の
ボーリング調査が始まっていますが、
『海上での銃剣とブルドーザーで
基地建設が始まった』
という様相です。

私は、自国の自由、平等、人権、
民主主義を守れない国が、

どうして世界に
その価値観を共有できるのか
不思議であります。

私は自由民主党の出身ですから、
日米安保体制は
大変理解しております。

日米同盟は、もっと品格のある
誇りのあるものでなければ、
アジアのリーダーとして
価値観を共有できないのではないか。

:

:

安倍総理と会談しました。
安倍総理がおっしゃったのが

「普天間、新辺野古をつくるが、

そのかわり嘉手納以南は着々と返す。

オスプレイも

何機かは本土で訓練している。
負担軽減を着々とやっているから
理解していただけませんか」
という話でした。

私からすると

「総理、普天間が辺野古に移り、
嘉手納以南が返還された場合、
一体全体、沖縄全体の基地は
どれだけ減るのかご存知ですか。

一昨年、
小野寺五典防衛相(当時)と
確認したところ、
今の米軍専用施設の
73.8%から 73.1%になる。

0.7%しか減らないんです。

みんな県内移設だから。
那覇軍港は 2025 年など、
年限を決めて返還すると言っているが
『またはその後』と書いてある。

:

:

これまでも散々、
そういったことに
付き合いされてきたから、
いつ返還するかわからないと
よくわかる。

返還に着々と進んでいるようには
見えませんよ」ということです。

:

:

オスプレイも、
実は 2012 年に配備される半年前から、
沖縄に配備されるという話があった。

当時の森本敏防衛相にも
話をしに行きましたが
「一切分かりません、聞いていません」
と言う。しかし森本さんが
学者時代の 2010 年に出した本に

「2012 年に 12 機、2013 年に 12 機、
配備される」と書いてある。

一学者が書いた通りになっている。
日本の防衛省はよっぽど能力がないか、
県民や国民を欺いているか。

本の中では
「もともと辺野古は
オスプレイを置くために
設計しているので、
100 機以上配備される」とある。

そうすると 24 機来て、
何機か県外で訓練していますが、
みんな沖縄に戻ってくる。
それが見えるだけに、
私は総理に
「それはちょっと信用できませんよ」
と話をさせてもらいました。

:

:

13 年前、
アメリカのラムズフェルド

元国防長官が、
普天間基地を見においでになりました。
「これはダメだ、世界一危険だから
早く移転しなさい」と言いました。

菅義偉官房長官も、再三再四、
「普天間は危険だから辺野古に移す」
と言っているんですが、

ならば新辺野古基地が造れない場合、
本当に普天間は固定化しますか。

アメリカも日本も
これだけ危険だと言っている
普天間を固定化出来るんですか。

「そうしないと固定化するよ」
と私たちを
脅かしているものですからね。
安倍さんは返事がありませんでした。